

2022年9月26日

報道発表資料



News Release

IGRいわて銀河鉄道株式会社

第 100 回取締役会の内容について

IGRいわて銀河鉄道株式会社(代表取締役社長 浅沼康揮)では、「第 100 回取締役会」において、下記の点について報告されましたのでお知らせします。

【資料 1】 2022 年 4～7 月の状況について(輸送概況)・・・p. 1

【資料 2】 大雨による被害について・・・・・・・・・・・・・・p. 2～3

【資料 3】 沿線関連等の取組について・・・・・・・・・・・・・・p. 4～6

※お問い合わせにつきましては、本日 17 時 30 分まで受け付けておりますので、下記担当までご連絡ください。

IGRいわて銀河鉄道株式会社

総務部 総務グループ(広報担当)

TEL 019-601-9981/FAX 019-601-9997

〒020-0133 盛岡市青山 2-2-8

URL <https://igr.jp/>

2022年4～7月の状況について（輸送概況）

◇ 輸送人員

【単位：人/日】

	2022年度	2021年度	増減	対比	2018年度	増減	対比
定 期	10,096	10,097	△ 1	100%	11,084	△ 988	91%
通 勤	3,889	4,003	△ 113	97%	4,363	△ 474	89%
通 学	6,207	6,094	113	102%	6,720	△ 513	92%
定 期 外	2,413	2,104	309	115%	3,661	△ 1,248	66%
合 計	12,509	12,201	308	103%	14,744	△ 2,235	85%

(項目ごとに四捨五入のため、合計しても合わない場合がある。)

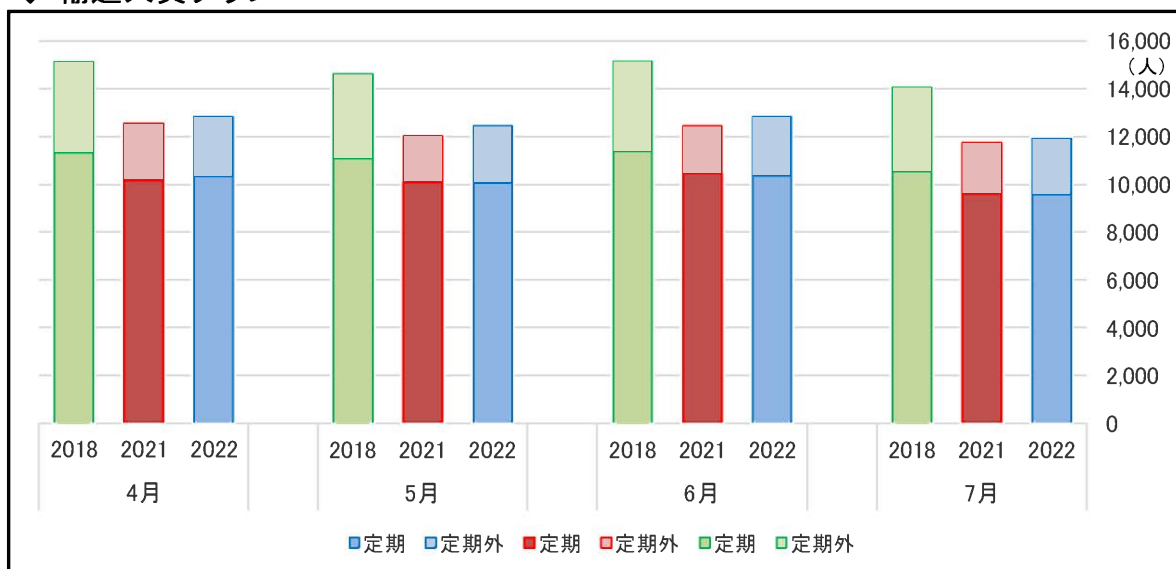
◇ 旅客運輸収入

【単位：百万円】

	2022年度	2021年度	増減	対比	2018年度	増減	対比
定 期	179	184	△ 6	97%	204	△ 25	88%
通 勤	88	92	△ 3	96%	104	△ 15	85%
通 学	90	93	△ 2	97%	100	△ 10	90%
定 期 外	143	116	27	123%	215	△ 73	66%
合 計	321	300	21	107%	419	△ 98	77%

(券種毎の統計数値のため、決算数値とは異なる。)

◇ 輸送人員グラフ



◇ 概況(輸送人員)

【2018年(平常時)比較】

- (通勤定期) コロナによる通勤方法の変更やリモート出勤の影響などにより減少してる (89%)。
- (通学定期) 少子化の影響などにより減少している (92%)。
- (定 期 外) 飲食を伴う会合や旅行の自粛、通院回数の減少、イベント規模の縮小など、依然として大きく減少している (66%)。

【前年比較】

- (通勤定期) 前年度に比べ、同程度で推移している (97%)。
- (通学定期) 少子化の影響はあるが、今年度開始した二戸市による通学費半額補助などにより、前年度に比べ、同程度で推移している (102%)。
- (定 期 外) チャグチャグ馬コをはじめ様々なイベントが復活し、行動制限も無いことから、前年度に比べ、大きく増加している (115%)。

大雨による被害について

1. 概況について

2022年8月3日の大雨の影響により、当社線で複数の雨量計が規制値に達したことから、盛岡～二戸間が運転中止となった。特に降雨量が多かった奥中山高原～小繋間で、道床の流出等が複数の箇所が発生した。復旧作業が完了した区間から順次運転を再開し、8月8日の15時に全線で運転を再開した。

このことにより、全線運転再開までの間に運休が192本発生し、約10,400人に影響があったが、タクシーによる救済輸送や代行バスにより、お客さまの交通を確保した。

【時系列】

日 時	状 況		
8/3	9:46	順次、運転中止（盛岡～二戸間）	タクシー4台、バス6本による救済輸送（46名）
	11:00	対策本部設置	
	13:07	盛岡～いわて沼宮内間 線路点検開始	
	19:44	〃 所定速度で運転再開	
8/4	—	二戸～目時間 線路点検	—
8/5	—	〃 始発から所定速度で運転再開	—
8/7	23:35	いわて沼宮内間～二戸間 復旧作業完了	バス11本（83名）
8/8	15:00	確認列車で安全を確認し、全線運転再開	バス6本（124名）
	同	対策本部解散	※運転再開まで

【主な被害状況一覧】

写真番号 (別紙参照)	駅間	主な被害と復旧内容
—	青山～厨川	傾斜木 ⇒ 伐採
—	御堂～奥中山高原	草木流入 ⇒ 撤去
①	御堂～奥中山高原	土砂流入、道床流出⇒土砂撤去、道床補充、軌道整備等
—	奥中山高原駅構内	分岐器の冠水 ⇒ 転てつ機の交換
②	奥中山高原～小繋	道床・路盤流出等（16箇所）⇒道床補充、軌道整備等
③	小繋～小鳥谷	排水不良、道床流出等（5箇所）⇒同上、側溝の浚渫
④	小鳥谷駅構内	法面崩壊、線路側溝損壊 ⇒ 仮囲いによる進行防止

2. 今後について

今般被害を受けた箇所は、安全を確保したうえで早期復旧するための仮復旧工事であり、現在、本復旧工事に向けて調整している。

復旧費用については、仮復旧工事に約5千万円を要した。本復旧工事は、施工方法を含め検討中である。

【災害状況】

【復旧状況】

▼トンネル土砂流入（御堂・奥中山高原間）

▼土砂撤去、道床補充、軌道整備等

【写真①】



▼道床流出等（奥中山高原・小繫間）

▼道床補充、軌道整備・設定替等

【写真②】



▼排水不良等（小繫・小鳥谷間）

▼道床補充、軌道整備・側溝浚渫等

【写真③】



▼法面崩壊等（小鳥谷駅構内）

▼ブルーシートによる進行止め

【写真④】



沿線関連等の取組について

1. 青い森鉄道との「開業 20 周年記念共同企画」



開業 20 周年を記念して、青森～盛岡間を直通する快速列車を初めて運行しています。7 月、9 月、10 月の 3 連休（12 日間）は青い森鉄道の車両を使用して主に青森から盛岡に行くお客さまに、10 月の後半（4 日間）は IGR の車両を使用して主に盛岡から青森に行くお客さまにご利用いただけます。

併せて、片道タイプの割引きっぷとフリーパスも発売中です。

2. 「沼宮内高校× IGR 利用促進ポスター」



若手社員が企画し、賛同いただいた岩手県立沼宮内高等学校生徒会のご協力により、「鉄道利用促進ポスター」を作成しました。これは、沿線の高等学校に通う学生のマイレール意識を育み、卒業後も移動手段の一つとして鉄道を利用していただきたいという思いから企画されたものです。

このポスターは、駅や列車内のほか、岩手町内の各施設に掲出しています。

3. 「御所野遺跡世界遺産登録一周年記念 銀河鉄道まつり 2022」



これまで好摩駅特設会場で開催してきた「銀河鉄道まつり」ですが、今年は一戸町と共催で 10 月 15 日に開催予定です。

毎回実施している鉄道に触れあえる展示や体験・見学のほか、プラレールのレイアウトや鉄道写真展も予定しています。

さらに、沿線の PR やグルメコーナーに加えて「御所野遺跡」や街なかへお出掛けできる仕組みを検討中です。

4. ミニ SL・ミニ電車の出展



ビッグルーフ滝沢で 7 月 23 日に開催された「たきざわのりものフェスタ in ビッグルーフ滝沢」に参加しました。IGR のブースでは乗車体験が人気で 300 人以上が乗車しました。

そのほか、各地でのイベント等にも出展し、お客さまにご乗車いただくことで、認知度向上を図っています。

【そのほかの出展先】

奥中山高原、滝沢市内学童クラブ、安比高原、やはば一く等

5. 将来の IGR ファン拡大につなげるイベント



小学生を対象として 8 月 5 日に「IGR 自由研究お助け隊!!～ IGR 鉄道学校編～」を催行し、11 人にご参加いただきました。

そのほか、子供連れの家族を対象とした、以下の乗車体験会も開催し、IGR を知ってもらい、より身近に感じてもらう取組を実施しています。

- ・乗車体験会（“あおやまフリマ”の一環として開催）
- ・乗車体験会ママ楽♡（子育てサークル“ママ楽♡”と共同開催）

6. 県北及び沿線地域への観光客の誘客促進に関わる取組



銀河鉄道観光では、以下の宿泊パック・日帰りパック・日帰りツアーを催行し、計 155 名にご参加いただきました。

- ・ソムリエと行くテロワールを探す旅 in いわて北三陸
- ・折爪岳ヒメボタルナイトツアー
- ・江戸時代の日本酒「國光正宗」を知る初夏の洋野町めぐりツアー
- ・日帰りパック in 花とアートの森フェスタ 2022
- ・カダルテラス金田一宿泊パック

7. 日本遺産「奥南部漆物語」地域文化財総合活用推進事業



この事業について、以下の 2 業務を実施します。

- ・国内外来訪者向け案内ガイド整備業務
地元在住の案内人を養成する講座。
- ・地域観光ワークショップ開催業務
日本遺産を「旅行商品」に結びつけるために、全国の旅行商品造成担当者を招き、地元関係者とワークショップを開催

8. 関係人口・交流人口戦略プロジェクト



岩手町と連携し、いわて沼宮内駅をハブ（中心地、結節点）とした広域観光推進のための観光コンテンツ（主として産業観光）造成及び磨き上げ、観光ルートを造成する事業に取り組みます。8月10日には、第一回となる関係者ミーティングを実施し、事業概要の確認と意見交換を行いました。

9. 金田一温泉博覧会・ユダオンパク 2022



この博覧会は、旧来の「金田一温泉まつり」に替わる催事として、2022年2月に開催予定であった「金田一温泉郷ゆ〜ゆ〜博」を引き継ぐ形で、7月23・24日の2日間にわたって開催され、I GRでは、会場への送客及び来場者への案内（コンシェルジュ）などに取り組みました。

10. 奥中山高原にぎわい市



奥中山高原と連携し、「にぎわい市」への送客を目的とした「日帰りパック」及び「宿泊パック」の企画に取り組み、奥中山高原施設の宿泊需要増に寄与しています。

また、9月23日～25日には、奥中山高原・I GR共催による「オータムフェスタ」を開催し、ミニSL運行やぬりえ缶バッジづくり体験、グッズ販売を実施しました。

11. お休み処ニコニコ駅こずや



小鳥谷駅舎内では、「お休み処ニコニコ駅こずや」が、同運営委員会により試行的に開催されています。お茶などが振舞われ、地域住民の憩いの場となっており、今年度は12月までの毎週土曜日に開催予定です。

12. びすとろ銀河：青山ビアガーデン開催



びすとろ銀河では、ビアガーデンを7月に7回開催し、矢巾町の新鮮野菜を使用したおつまみの販売のほか、日にち限定で岩手町焼きうどんの出店を実施しました。

また、ご好評につき8月にも3回追加開催しました。

13. 銀河ダイニング「へのへの」 三大ミートオードブルの発売



銀河ダイニングへのへのでは、二戸市自慢の三大ミートを使用したオードブルの販売を開始しました。

【へのへ三大ミートオードブル】3種肉の盛り合わせ
いわて短角牛、あべどり、菜彩鶏、佐助豚の「ぶっとべ」を堪能できるオードブル。2人前 3,000円～

14. 各駅デザイン「えきいろ」の活用

【いわて銀河鉄道利用促進協議会事業】



I GRの沿線の魅力を再発見し発信することを目的として2021年度に募集したイラストから作成された、各駅デザイン「えきいろ」のポスターを「無印良品イオンモール盛岡南店」にご協力いただき、店内に掲出しています。

お客さまから好評をいただいております。今後、駅名標やグッズなどへの展開を予定しています。